

弘法さんかわら版

発行編集部

大塚和乎事務所

☎052-757-1955

kouhei@oh-kouhei.org

「弘法さん」の縁日って、いつから始まったのかな？

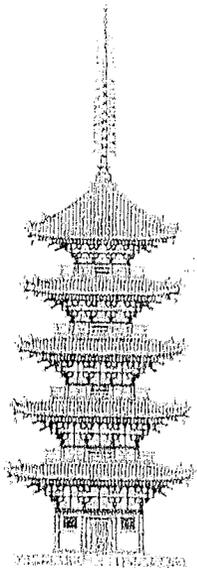
弘法さんによくこそ！でも、皆さん、どうして弘法さんって言うかご存知ですか？「そりゃあ、あんた、弘法さんがおるんでしょ、日泰寺の中に」と思われるかも知れませんが、おばあちゃん、それは違うんですよ。弘法さんの像は日泰寺参道の周辺にたくさん祀(まつ)られています。が、日泰寺の中に祀られているのはお釈迦さまです。

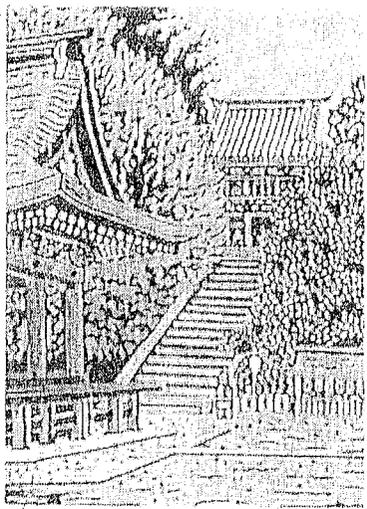
一八九八年(明治三十二年)、インドの**ピズラーワー**というところで発見されたお釈迦さまの骨(仏舍利)ぶっしやり)を、タイ王室が仏教国である日本に分けてくれることになりました。そこで、日本の仏教各宗派が相談をして、お釈迦さまの骨を祀るお寺を新しく建てることと

なり、選ばれた場所がここ旧田代町です。お釈迦さまを表す「覚王」という名前を山号としました。そして、日本とタイ(泰)の友好の証(あかし)として寺院の名前を**日泰寺**としました。覚王山日泰寺の誕生です。一九〇四年、明治三十七年のことでした。

さて、ではなぜ弘法さんが祀られるようになったのでしょうか。毎月二日に縁日が開かれるようになったのでしょうか。実はよく分からないんです。一説によると、明治時代の終わりごろ、日本全国で弘法さんブームが起きていたため、参道の賑(にぎ)わいのために弘法さんの命日に縁日が開かれるようになったとも言います。弘法さんが開かれるようになった理由、ご存知の方がいたら教えてください。

ところで、弘法さんと言えば、四国巡礼、八十八寺院の**お遍路さん**が有名です。一九〇九年、明治四二年には、数人の發起人の努力で、日泰寺参道周辺には弘法さんが八十八





ヶ所に祀られるようになりました。
覚王山日泰寺の八十八ヶ所霊場の
誕生です。

「歳弘法（としこうぼう）」の
「おもかるさん」

参道のまん中あたりの東側に、
「歳弘法」という弘法さんが祀られ
ているお堂があります。弘法さん
（弘法大師空海）の一歳から高野山
に御入場された（お亡くなりにな
った）六二歳までの像が祀られてい
ます。自分の歳、あるいはお願いを
したい人の歳の弘法さんの像にお
参りをすると、御利益（ごりやく）
があるそうです。

その入口の小さなお堂には、「お
もかるさん（重軽さん）」という「弥
勒（みろく）石」が置いてあります。
お参りする前と後に石を持ち上げ
てみて、お参り後に持った時の方が
軽く感じられるようなら、願いごと
がかなうそうです。試してみません
か？

「弘法さん：かわら版」、（時間
つぶしの・・・）お役に立てば幸
いです！！

さて、「弘法さん：かわら版」は
今回が創刊号です。毎月二一日の弘
法さんの縁日の日に、弘法さん八十
八ヶ所霊場や日泰寺にまつわる話、
覚王山周辺の話題を皆さんにお伝
えしたいと思います。不思議な話、
しらない話がいっぱいありそうで
す。「あんたあ、こんな話しつと
る？」「おみやあ、こないだ書いて
あった話、ちがうがや」などと、
ドシドシと編集部にご連絡くださ
い。お待ちしております。

編集部場所は、参道出口の正面、
広小路通り沿いの覚王山プラザ二
階の参議院議員・大塚耕平事務所内
です。では、また来月、お会いしま
しょう！

